

第12講：米ソ冷戦とキューバ危機

冷戦体制の形成

世界大戦の産物：超大国の出現

戦後世界の構築：連合国の安全保障の追及と解放地域への影響力保持

相互不信の淵源：自ら好む政治体制の導入と同盟網の形成

世界化した対立：政治的・軍事的対立とそのイデオロギー的正当化

ウォルター＝リップマンの命名

1945 ヤルタ会談：東欧における戦後の勢力圏（特にポーランドとギリシア）

ポツダム会談：東欧での譲歩を引き出せず

原爆外交の挫折：ソ連の譲歩を引き出せず→対ソ不信の増大。

ギリシアの内戦：ヤルタでの合意違反と取られる

東欧における「人民民主主義」

1946 チャーチルの「鉄のカーテン演説」

1947 トルーマン＝ドクトリンと「封じ込め政策」：ギリシア内戦支援
マーシャル計画：戦後復興・チェコスロヴァキア政府の受け入れ
表明と撤回

コミンフォルム（共産党情報局）結成

1948 チェコスロヴァキアにおける共産党のクーデタと政治裁判

西ヨーロッパ連合条約

西ドイツにおける通貨改革とベルリン封鎖（～49）

1949 ソ連の核保有

コメコン（経済相互援助会議）結成

ドイツ連邦共和国、次いでドイツ民主共和国の成立

北大西洋条約機構

1950 朝鮮戦争（～53）

1954 パリ協定

1955 ワルシャワ条約機構

1961 ベルリンの壁と危機

キューバ危機

- 1959.1.1 キューバ革命
- 1960.7 キューバ産砂糖の輸入禁止
 - 10 キューバへの輸出禁止
- 1961.1.2 キューバ、アメリカ大使館員の削減要求
 - 3 キューバとの外交断絶
 - 20 ケネディー政権成立
 - 4.17 ピッグス湾事件（～20）
- 1962.1 米州機構からキューバを除名
 - 2 キューバからの輸入全面禁止
 - 7 ラウル=カストロ軍事相、訪ソ
 - 8 チェ=ゲバラ工業相、訪ソ
アメリカのマスコミにキューバでは「危険な何かが進行している」と伝えられる
 - 8.23 CIA 確認
 - 8.29 U-2 型機、キューバに SAM 基地発見
 - 9.4 ケネディー、対ソ警告
 - 9.5 ミグ 21 の存在確認
 - 9.11 ソ連政府の声明
ケネディー、議会に予備役の現役復帰の権限を求める
 - 9.12 ケネディーの声明
 - 10.14 U-2 型機、キューバ西方の航空写真を撮影
 - 10.15 MRBM 基地を確認
 - 10.16 バンディ特別補佐官の報告
国家安全保障会議執行委員会召集
 - ① 泣き寝入り、② ソ連と外交交渉、③ カストロと外交交渉
 - ④ 海上封鎖、⑤ 外科手術的空爆、⑥ 侵攻
 - 10.17 封鎖案が有力化
 - 10.20 国家安全保障会議で正式決定
 - 10.21 ケネディーのテレビ演説
 - 10.23 ケネディー、海軍に封鎖命令

ソ連の非難と応戦体制

アメリカの臨戦態勢

- 10.24 ウ=タント国連事務総長、米ソに交渉呼びかけ
- 10.25 ブカレスト号、封鎖線通過
- 10.26 マルキュラ号、通過。16隻が引き返し始める。
フルシチョフの「私信」届く
- 10.27 フルシチョフの「公開書簡」
ケネディーの返答
国家安全保障会議執行委員会、次の措置を検討
- 10.28 モスクワ発のラジオ放送
- 11.22 ケネディー、停船臨検の集結宣言
- 1963.6.20 ホットライン協定
- 8.5 部分的核実験停止条約
- 11.22 ダラスにてケネディー暗殺
- 1964.10.15 フルシチョフ解任